

みんなの広場



▲土器文様の凹凸を和紙で表現する拓本体験

拓本に挑戦！ きれいに文様でるといいな☆



▲各地の民謡も披露されました

本物に触れたひととき

2月15日(日)、市民会館で第22回志木市芸能祭が行われました。当日は、邦舞踊・洋舞踊・民謡・歌謡・詩吟・剣舞・太鼓など、数々の演技や演奏が披露されるなか、会場の皆さんは、素晴らしい芸能に酔いしれていました。

子どもたちの幸せを願って



▲旧村山快哉堂がつるし雛で華やかに

2月6日(金)から、旧村山快哉堂で雛のつるし飾りの展示がはじまりました。古布を使って一つ一つ手作りされたもので、鶴、亀など、約20種類、1,000点のつるし飾りは、目にも鮮やかでとても素敵です。展示は3月16日(月)まで。ぜひ一度お立ち寄りください。

開館曜日・時間／

金・土・日・月曜日 午前10時～午後4時

貴重な雛人形の数々は必見

2月5日(木)から、郷土資料館で、特別展「第11回ひなまつり」が開催中です。子どもの健康と健やかな成長を祈り、市民の皆さんから寄贈を受けた約1,000体の人形が展示されています。昭和期の人形を中心に、明治11年の内裏びなや約100年前の袴びななど、貴重な雛人形が会場いっぱいにならんでいます。また、会場正面に飾られている15段の雛飾りは迫力があり必見です。特別展の開催は、3月8日(日)まで。皆さんお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

開催時間／

午前9時30分～午後4時30分 ※月曜日は休館



▶会場いっぱいの雛飾り

藤田 きりたんちゃん(5歳)

柏町在住



うんてい大好き！鉄棒大好き！
どこだって逆上がりしちゃうよ！

神谷 帆南ちゃん(2歳)

下宗岡在住



大好きなワンワンの自転車に乗ったはんなちゃん。なんとも言えない笑顔で嬉しそうな顔を見ると、成長したなあ。としみじみ感じます。これからもたくさん遊んで、笑顔を見せてね！

募集！

原則1歳から4歳までの子どもたちを募集しています。

申込み／メール(koho@city.shiki.lg.jp)または電話で、秘書広報課(内線2007)へ。随時受け付けています。

※メールでの申込みの場合には、住所、氏名、お子さんの氏名、年齢、性別、電話番号を明記のうえ、タイトルに「広報しきの笑顔だいすきの応募」と必ず明記して送信してください。

笑顔
だい☆すき



こんにちは。春の訪れが待ち遠しい季節になりました。志木市では、3月13日に中学校の卒業式、3月24日に小学校の卒業式が行われ、1千290人の志木っ子たちがそれぞれの学び舎を巣立ちます。改めて、次代を担う志木っ子たちが、夢と未来を語り、ふるさと志木市を誇れるまちにしていきたいと思っています。

■市民力を生かし、未来に夢と希望を持てる
予算編成

2月20日に志木市議会定例会が開会しました。今定例会には、私が市長となって編成した2年度目の予算案を上げしています。

議会においても多角的な視点から議論をしていただくこととなりますが、平成27年度は、次の3点について力を傾注し事業を推進したいと考えています。

まず一つ目として、生きがいを持ち、豊かな人生を送るためには、健康づくりは重要な要素です。現在、県内男性4位、女性3位の健康寿命から「健康寿命日本二」を目指し、市民力を生かした健康づくり施策を積極的に進めます。

具体的には、全国で初めてとなるノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会を5月17日に開催します。この大会では、ノルディックウォーキング・ポールウォーキングだけではなく庁内の部局連携を深めながら高齢者

の体力測定をはじめ、地産地消の推進、特定健診の受診勧奨、チャレンジスポーツミニ体験講座などを実施しながら市民の健康づくりの一助としていきます。

次に、二つ目として、子どもは、次代を担うかけがえのない存在であることから、平成27年度からスタートする子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育てにやさしい施策を推進します。

具体的には、従来の保育園保育料算定における年少扶養控除及び特定扶養控除の範囲についての適用を在園児のみ継続するとともに、保育園と学童保育クラブの保育料引下げを行い、子育て世帯の負担軽減を図ります。

また、保護者が安心して子育てと就労の両立ができる環境の整備を進めるため、志木第三学童保育クラブの別棟整備事業を完了し、市内8か所の学童保育クラブの対象学年を小学校6年生まで引き上げます。

さらに三つ目として、ますます進展する少子高齢社会にあつて、高齢者や障がい者が暮らしやすいまちづくりを推進するため、新たな交通手段の確保を進めます。

具体的には、高齢者や障がい者、子育て世帯などを対象として、駅や病院、商業施設などへの新たな移動手段として、タクシー会社との連携によるデマンド交通の導入を進めます。7月を目途に実証実験を開始し、利用状況やほかの公共交通機関に与える影響などを検証したうえで、平成28年度の本格実施に向けて進めていきます。

これらは、平成27年度実施する施策の一部であります。いよいよ議会において、平成27年度予算が議論されます。頂戴したご意見、ご指摘を踏まえ、今後の施策に全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解ご協力よろしくお願いいたします。